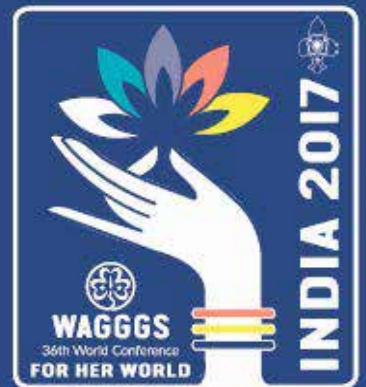


36TH WORLD CONFERENCE

For her world - India - September 2017

第36回世界会議 ニュースレター



2017年9月、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟(以下WAGGGS)による第36回世界会議がインドで開催されました。世界会議は、世界中の加盟連盟の代表が集まってWAGGGSの方針を決定する、3年に1度の会議です。

【会議データ】

開催地: プルマンホテル(インド デリー)
 期日: 2017年9月18日(月)~22日(金)
 参加者総数: 約500人(119加盟連盟)
 テーマ: For her world

日本派遣団:

正代表 花岡美智子(会長)
 重住恭子(国際コミッショナー)

オブザーバー 鈴木聡美(青年代表・群馬県第38団)
 田井芳香(青年代表・大阪府第19団)
 宮岡広子(日本連盟職員)



日本派遣団の5人



参加者全員集合

会議スケジュール

世界連盟理事会と各加盟連盟から提出された議案に対し、事前に加盟連盟の考えを準備して代表団が会議に参加します。今回の世界会議では、1日目に会議の規則を承認し、2日目には具体的な議案内容が協議されました。参加者からの積極的な発言や意見交換を受け、議案の修正・追加・取り下げなどがなされました。4日目に、投票によりすべての議案が採決されました。

時間	9/18(月)	9/19(火)	9/20(水)	9/21(木)	9/22(金)
8:30-10:30 セッション1	歓迎セッション	リフレクション	リフレクション	リフレクション	リフレクション
	臨時総会(EGM)	討議1 (議案/修正案)	フォーラム2017 【日本連盟ワークショップ実施】	投票1 (議案/修正案)	地域 ギャザリング
休憩 10:30-11:15					
11:15-12:45 セッション2	会議開会	討議2 (議案/修正案)	フォーラム2017	投票2 (議案/修正案)	地域 ギャザリング
昼食 12:45-14:00					
14:00-15:30 セッション3	加盟連盟について	アイデア マーケット	フォーラム2017	事例発表と講演 'For her world'	投票3 (理事選挙)
休憩 15:30-16:15					
16:15-17:45 セッション4	世界連盟理事候補者の紹介	アイデア マーケット	フォーラム2017	事例発表と講演 'For her world'	表彰式
					会議閉会
夜の プログラム	開会式(夕食)	夕食 18:30-20:00			閉会式(夕食)
		世界連盟理事候補者と話す機会 ネットワーク作り セッション	自由行動 (オプションルツアー)	インターナショナルナイト・ワールドマーケット	



主な決議事項

2015-2017年の報告

2015-2017年の3年間の報告が承認されました。

2018-2020年の戦略計画

2018-2020年の予算を含む、戦略的計画案が承認されました。

4つ目の公用語

WAGGGSの4つ目の公用語にアラビア語が加わるようになりました。



同時通訳のためのヘッドセットと、投票用電子機器。これを使って正代表が投票します。

理事選挙／次期世界連盟理事

選挙により9人の候補者から新たに6人の世界理事が選出されました。選挙後、直ちに理事会がおこなわれ、新役員が決定しました。(★は新理事)

理事長	アナ・マリア・ミデロス(ペルー)
副理事長	ユニー・マツイ(アメリカ)
副理事長	ジェイン・ワチラ(ケニア)★
財務担当理事	タシア・バットストーン(カナダ)★
理事	ナターシャ・ヘンドリック(オーストラリア)
理事	ハイファ・オウルル(チュニジア)
理事	ナディーン・カゼ(ブルンジ)
理事	アネ・ゲヤス(スイス)
理事	カテリーナ・アゴロジャンニ(ギリシャ)★
理事	ノルマラ・バハルディン(マレーシア)★
理事	ハイディ・ヨーキネン(フィンランド)★
理事	ズィーネ・マディービ(南アフリカ)★
アラブ地域委員長	ラエダ・ベイダー(ヨルダン)
アジア太平洋地域委員長	メリベル・マリナス(フィリピン)
アフリカ地域委員長	ゾエ・ラソアニアイナ(マダガスカル)
西半球地域委員長	ジョーイ・ローゼンバーグ(アメリカ)
ヨーロッパ地域委員長	マージョレイン・スライター(オランダ)



アナ・マリア・ミデロス
新理事長

加盟連盟状況

新たに4連盟が加わり、総加盟連盟数は150となりました。

【準加盟→正加盟】

シリア連盟(アラブ地域)、アルバ連盟(西半球地域)

【新規】

○正加盟連盟

アゼルバイジャン連盟(ヨーロッパ地域)、パレスチナ連盟(アラブ地域)

○準加盟連盟

アルバニア連盟(ヨーロッパ地域)、ニジェール連盟(アフリカ地域)

※定款改訂により、連盟としての体制が整っているなどの条件が満たされた場合、正加盟連盟として新規加盟が可能になりました。

次回開催地

第37回世界会議は2020年、アフリカのウガンダで開催されることが決定しました。

インド連盟からウガンダ連盟へ、世界連盟旗が手渡されました。



主なプログラム

歓迎セッション／開会式(9/18)

「ピーコックルーム」に集まり、やくそくの唱和と、出席連盟の点呼で世界会議が始まりました。まさに世界中の仲間たちが一堂に会していることを実感することができました。

開会式は、他連盟参加者とペアを作り入場。インドの女性大臣やインド連盟会長、ナイジェリア元首相夫人によるあいさつがありました。セレモニー後半はインドの少女たちによる踊りが次々に披露され、楽しいひと時を過ごしました。



(右から)インド女性大臣、ナイジェリア元首相夫人、インド連盟会長



アイデアマーケット(9/19)

アイデアマーケットは、ガールスカウト活動に関わるアイデアを共有する時間です。各加盟連盟からそれぞれの取り組みについて学ぶことができました。

日本からは防災・減災のヒントを展示・紹介しました。防災マイスターの取り組みの中から、英訳したプッチブックの配布、ツナ缶ランプや新聞紙スリッパの展示のほか、防災関連動画の映写をおこないました。世界規模で水害や地震などの災害が起きていることもあってか、多くの人が興味を持った様子で、日本の災害対策と防災・減災教育の大切さを伝えることができました。また、戸隠ガールスカウトセンターを紹介する動画も紹介することができました。



日本の防災減災プロジェクトを紹介



フォーラム2017 (9/20)

テーマ「For her world」に合わせて全部で32のフォーラムが開催されました。1セッションの参加人数は30～100人で、参加者は興味のあるセッションを選んで参加します。2連盟合同の共同セッション、加盟連盟独自のプロジェクト紹介、WAGGGSからの新しい取り組みの情報共有など、内容もさまざまでした。スモールディスカッション形式やアプリを使った体験形式など、どのフォーラムも開催連盟の工夫が見られました。



Growing Guiding through partnerships

日本連盟はミャンマー連盟とパートナーシップに関するワークショップ型の共同フォーラムを開催しました。2014年にミャンマー連盟が準加盟連盟として承認されるまでの経緯、そして現在に至るまでのリーダー・ガールスカウト育成のためのパートナーシップについて紹介しました。ワークショップでは、他連盟と共に行動するにはどのような壁があるか、またそれを乗り越えるための解決策などを参加者たちの経験を交えてディスカッションしました。パートナーシップを通して、サポートされる側だけでなく、サポートする日本連盟にとっても、大きな利益(ユース年代が国際的な経験を得る機会が増加した)があったことを共有し、参加者が今後、パートナーシッププロジェクトに取り組むきっかけとなるようなフォーラムをおこないました。



セッション担当 田井青年代表



意見を交わす参加者たち



ワークショップ担当 鈴木青年代表



ワークショップ担当ミング氏 (ミャンマー連盟)

派遣団が参加したフォーラムを一部ご紹介します



台湾連盟・ネパール連盟: 災害緊急支援



イギリス連盟: ユース年代主導の社会的変化を起こす取り組み



WAGGGS: すべての人のための国際的経験



香港連盟: 科学技術を利用したプログラム

事例発表と講演 'For her world' (9/21)

会議テーマをかかげたこのセッションは、パートナーシップの重要性やWAGGGSがおこなっているプロジェクトの方向性を確認するものでした。WAGGGSの資金支援団体Olave Baden-Powell Society (OB-PS) のパトロンであるデンマークのベネディクテ王女およびUPS Foundationの代表者の講演、The Goals.org・Dove・UN Womenの方々のパネルディスカッションなど、次々と講演および事例報告がなされました。加盟連盟が独自に動くことができなくても、公的な機関や民間企業とパートナーシップをつなぐことによりスカウティングの可能性は大きくひろがることを再確認しました。また私たちはWAGGGSからの意義あるたくさんのプロジェクトやプログラム(FBM・STV・Be the Change等)に平素から取り組んでいます。これらはすべて国連のSDGsにつながるということも理解されました。

インターナショナルナイト/ワールドマーケット (9/21)

参加者全員が民族衣装に身を包み、工夫を凝らして自国の文化や活動を紹介しました。各連盟のガールスカウトグッズがあるだけでなく、文化体験のできるブースもありました。

日本派遣団は浴衣を着て参加し、緋毛氈(ひもうせん)を敷いて、本格的に茶道のお点前を披露しました。わずかながらの売上は全額、会議期間中に地震により被災したメキシコ連盟への寄付いたしました。



アジア太平洋(AP)地域ギャザリング (9/22)

AP地域はパキスタン連盟を除く25連盟が参加し、各連盟の活動報告をしました。日本連盟は2020年の100周年に向け、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして自信と力をつけて社会的認知度を高め、会員数4万人のビジョンを描いていることを発表しました。

2019年にAP地域は50周年を迎えます。AP地域の資金支援団体である「AP友の会」パトロンのマレーシアのアジザ王女のご臨席のもと、バースデーケーキを囲んでお祝いのカウントダウンをしました。





閉会式(9/22)

最後のセレモニーは、全員ポリウッズスタイル！日本派遣団もサリーに身を包みました。インドで長年、妊産婦と子どもたちの支援活動を続けてこられたシスター・ルーシーの講演のほか、オレブ賞の発表や新しい理事の発表、次回開催地であるウガンダ連盟への世界連盟旗授与のセレモニーなどがおこなわれました。2017年オレブ賞は、フィリピンとメキシコの団が受賞しました。最後には再びインドのダンス音楽に会場が包まれ、5日間の会議が終了しました。



シスター・ルーシーの講演



会議を支えたスタッフの皆さん

世界会議を終えて

会長 花岡美智子

ガールガイド・ガールスカウト運動は、世界で唯一の、すべての少女と女性が参加できる運動です。今回新たに4つの加盟連盟が増え、150連盟となりました。2020年には154連盟1,200万人になることを目指しています。そのためにWAGGGSのブランド力の強化、サービスの向上、この運動の価値の確認をしてきた3年間(2015年～2017年)の活動報告がありました。

WAGGGSは、すべての少女と女性のために質の高いプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が世界を変える力をつけていくことを目指しています。日本連盟も2020年に100周年を迎えるにあたって、活動基本方針のもとCAC100など社会に変化をもたらす活動をする中で、社会貢献できる自信と力をつけることを目指した取り組みを展開しています。日本のガールスカウトは世界と歩調を合わせて進んでいることを確信した会議でした。

国際コミッショナー 重住恭子

各加盟連盟青年代表のパワーは迫力でした。目をキラキラ輝かせながら、所属連盟のスカウティングの方向性や問題点等を声高に話しているのがとても印象的でした。彼ら青年代表は今後のWAGGGSや各加盟連盟を支え、未来に影響を及ぼす人材と成ることと期待いたします。またパートナーシップを基盤にし、少女と若い女性が可能性を伸ばし、よりよい社会と未来をつくるために声を挙げるという取り組みの重要性を実感いたしました。

世界150の国と地域に価値観を共有する仲間がいること、そして会員一人ひとりが世界連盟と繋がっていることを改めて痛感し、「ガールスカウトは動いている」と強く心に響いた5日間でした。

オブザーバー青年代表 鈴木聡美、田井芳香

参加者それぞれの肌の色・文化・言葉が違って、「やくそくとおきて」を共有する私たちはすぐに打ち解けることができ、国籍を超えた仲間ができました。会議では、ユース年代の強みである行動力と発言力をいかし、日本連盟の代表として他国連盟の参加者と意見を交わしました。世界中のガールガイドとガールスカウトは、共通のビジョンと使命を持って行動していることを実感できました。

オブザーバー 宮岡広子

ガールスカウトの多様性を身をもって体験できた5日間でした。少女と女性がよりよく生きられる社会を作るため、熱心に取り組む女性たちが世界中にいること、その一員であることを誇りに思いました。



(右から)花岡会長、重住国際コミッショナー、田井青年代表、鈴木青年代表

2011年から世界理事を務められ、今回の会議をもって退任された日本の和田照子さんにコメントをいただきました。

World Board Journey completed ～世界連盟理事の任期を終えて～



2011年のエディンバラでの世界会議以来、この6年間は非常に密度の濃い毎日で、会員増強そしてガバナンスの担当と、学びのチャンスとチャレンジの連続でした。ぜひ、より多くの日本のガールスカウトに、世界に飛び出してチャンスをつかんでいただきたいと思います。和田照子



発行
公益社団法人ガールスカウト日本連盟
www.girlscout.or.jp
gsj@girlscout.or.jp

(2017.10.5)

